

# 第16回沖繩県医師会 新研修医のための シンポジウム・歓迎レセプション印象記



常任理事 玉城 研太郎

## 第16回沖繩県医師会新研修医のためのシンポジウム・ 歓迎レセプション 次第

日時: 令和6年4月5日(金) 18:30 ~ 21:00  
場所: ロワジュールホテル那覇(天妃の間)

### シンポジウム 18:30 ~

司会: 沖繩県医師会 常任理事 大屋 祐輔

1. 開 式
2. 挨拶 沖繩県医師会 会長 安里 哲好  
来賓挨拶 沖繩県知事 玉城 康裕
3. オリエンテーション  
「ようこそ沖繩県の医療界へ  
—医師会の社会における役割—  
沖繩県医師会 理事 玉城 研太郎

### 4. シンポジウム

- ・ イントロダクション
- ・ シンポジストからの発表



沖繩県立中部病院 金城 友有 先生  
琉球大学病院 伊礼 由佳 先生  
中頭病院 新崎 里奈 先生

- ・ 質疑応答

座長

ハワイー沖繩医学教育フェロシップ実行委員  
武村 克哉

### 懇親会 19:50頃~

司会: 沖繩県医師会 理事 玉城研太郎

1. 開 会
2. 3 研修群代表挨拶 (県立病院群より)  
沖繩県立中部病院 院長 玉城 和光
3. 沖繩県医師会医学会賞 (研修医部門) 表彰式  
沖繩県医師会医学会 医学会長 砂川 博司
4. 乾 杯 (群星沖繩群より)  
群星沖繩理事長院長会議 議長  
大浜第一病院 院長 大城 康一
5. 歓 談
6. 研修医代表挨拶 (RyuMIC 群より)  
琉球大学病院 玉城 太成
7. 閉 会

今年もまた多くの研修医の皆様が沖繩県の医療機関での修練を選択頂き、沖繩県医師会でも4月に新研修医の皆様を歓迎させて頂きました。私も僭越ではありますが先輩医師として、また沖繩県医師会の役員として研修医の先生方にプレゼンをさせて頂きましたので、ここで少し内容をご紹介します。

まず最初に医師会の役割をお話させて頂きました。よく世間一般で、「医師会って何をやっているのかさっぱりわからん」という声をお伺いします。今後、県医師会でも医師会の仕事や役割をしっかりと医師の皆様、そして市民県民の皆様へ広報していかないといけないなあと考えておりますが、ここに関しては別の機会に論じるとしまして、研修医の皆様にもわたくしども医師会の活動をお話させて頂きました。しっかりと社会基盤づくり、医療がしっかりとしないと社会が成り立たない。そしてその医療基盤を作るのがまさしく医師会である！という哲学的な Introduction を皮切りに、医師会は地区医師会、沖繩県医師会、そして日本医師会の3層構造で成り立っており、それぞれ市町村行政、沖繩県行政、日本国家をカウンターパートナーとして医療を創っているのが医師会です、とお話を致しました。また地域の医療を守る、ということで予防接種事業や産業保健のお話をしながら、現在沖繩県が抱えている「働き盛り世代の死亡率、健康状態の悪化」の問題を取り上げ、沖繩県医師会で取り組んでいる Project そして population approach として開催した「うりずんフェスタ」のご紹介をしました。沖繩県が今後直面する超高齢社会に伴う医療ニーズと医療資源のスーパーアンバランス時代にどのように対

応をしていくのか？在宅医療や介護の充実化、そして東西 1,000 キロ南北 400 キロの広大な医療圏を有する沖縄県の真の意味での“誰もが取り残されない”医療を展開するための ICT の整備、「おきなわ津梁ネットワーク」の挑戦も紹介しました。東日本大震災、熊本地震、能登半島沖地震、そして記憶に新しい新型コロナウイルスにおける沖縄県医師会での災害医療対策もご紹介させて頂きました。多角的な取り組みはすべて医師会で行ってきた仕事であり、地域の沖縄県の医療を守るのは私達だという強烈な理念の下で活動をしている、是非とも一緒に沖縄県の医療を創っていきましょう、とお話をさせて頂きました。

医師の皆様が医師会に入会することのメリットとして医事紛争のお話はしっかりとお伝えする必要があります、医師の皆様が安心してお仕事に従事していただけるように、医事紛争から医師を守る体制が医師会でしっかりと確立されていることを紹介させて頂きました。また若手医師

が活躍できるフィールドを医師会ではしっかりと創り、若い世代の先生方の意見が医療施策に反映できるようなプロジェクト、沖縄県医師会若手医師チーム「Team F-Vision supported by OMA」をご紹介し、“一緒に活動しましょー”と、研修医の皆様をお誘いさせて頂きました。また医科学研究の励行、医師会は学術団体としての側面も重要であり、研究に従事することの大切さも加えてお伝えさせて頂いた次第です。

最後に研修医の皆様にもエールとして「目の前の患者さんお一人お一人を大切に、医療の課題をひとつひとつ解決してまいりましょう。患者さんのため、社会のために日々是精進です!!そして医療には「夢」があります。小医は病を治し、中医は人を治し、大医は国を治す。皆様のこれからの活躍を心よりお祈り申し上げます!」と申し上げてプレゼンを閉めさせて頂きました。沖縄県の医療の発展を、研修医の皆様と一緒に創っていきましたら大変うれしい限りですね。

## シンポジウム



会長挨拶



副知事挨拶 (知事代理)



オリエンテーション



シンポジスト

懇 親 会



3 研修群代表挨拶



医学会賞（研修医部門）表彰式



乾杯の音頭



研修医代表挨拶



会場の様子

